

2024年度 公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費 実績報告書

2025 年 4 月 15 日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 地域共生教育センター・准教授
(氏名) 村江 史年

公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費に係る研究実績について、次の通り報告します。

研究課題名	インドネシア・ロンボク島における防災教育プログラムの教材開発と普及発展		
交付額	600,000 円		
共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等
	文学部・教授	児玉 弥生	教材開発・評価担当
	国際環境工学部 特別研究員	Indriyani Racheman	教育実践・現地のコーディネート兼通訳

1. 研究の目的

インドネシアは日本と同様に自然災害による被害が多い。しかしながら、日本とは異なり、これまで正課カリキュラムとして防災教育が取組まれてこなかった。自然災害による被害を少しでも減らすために、幼少期から防災教育を正課カリキュラムとして普及する必要性が求められている。2023年度に特別研究推進費に採択され、モデル小学校において授業実践を行い、小学校の先生方と協働して防災教育に関する副読本を作成した。2024年度の特別研究推進費では、作成した副読本を用いて、モデル校以外の小学校を対象とした防災教育研修会の開催と人材育成を目的とした。

2. 研究の方法

- ①防災教育研修会の開催
- ②研修会参加者へのアンケート調査の実施
- ③研修会の開催ならびにアンケート調査の結果を受けて、カリキュラムの見直しと他地域での展開

3. 研究成果

- ①マタラム地区教育委員会とマタラム大学と協同して、防災教育研修会を開催した。マタラム地区から30校の参加があった。研修会の様子は地元新聞にも取り上げられた。
- ②研修会の前後でアンケート調査を実施して、その内容を地域戦略研究所紀要に投稿した。
- ③先生方の授業実践をサポートするために、前年度に作成した副読本と照らし合わせて用いる防災教育ワークブックを作成した。